

沖縄の物流と道路整備に関する調査について

沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

◎喜<sup>き</sup>舎<sup>しや</sup>場<sup>ば</sup> 正<sup>まさ</sup>秀<sup>ひで</sup>

○吉<sup>よし</sup>田<sup>だ</sup> 靖<sup>やすし</sup>

1. 目的

沖縄本島の物流について生活の安全安心を支える物流システムの確保の観点から、物流センサスをはじめとする統計データを基に物流の現状把握を行うとともに、物流の観点からの既存道路網についての課題を抽出し、対応策を検討するものである。

2. 内容

- ・現状の県内物流の整理、分析
- ・災害や異常気象時の物流への影響分析
- ・今後の県内物流の傾向
- ・沖縄県の物流に関する総括分析

3. 結論

南部地域～中部地域～北部地域を結ぶ南北方向幹線道路（国道 58 号、沖縄自動車道、国道 329 号）において、物流面から見た重要性が大きい。

沖縄本島内の道路ネットワーク上では、災害・異常気象時等に更に通行支障が発生する路線や区間があり、また幹線道路の一部に通行支障がある路線や区間がある。

県内物流の現状、災害時の物流への影響及び今後の動向を踏まえて対策の検討を行う。

4. 今後の問題点

道路構造物の劣化状況や自然災害の影響を考慮し、物流機能確保として優先的な対策箇所の検討をすることが課題である。